

## 1 自転車ネットワーク計画の概要

自転車ネットワーク計画とは・・・

- 安全で快適な自転車走行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、路線の整備形態等を示した計画

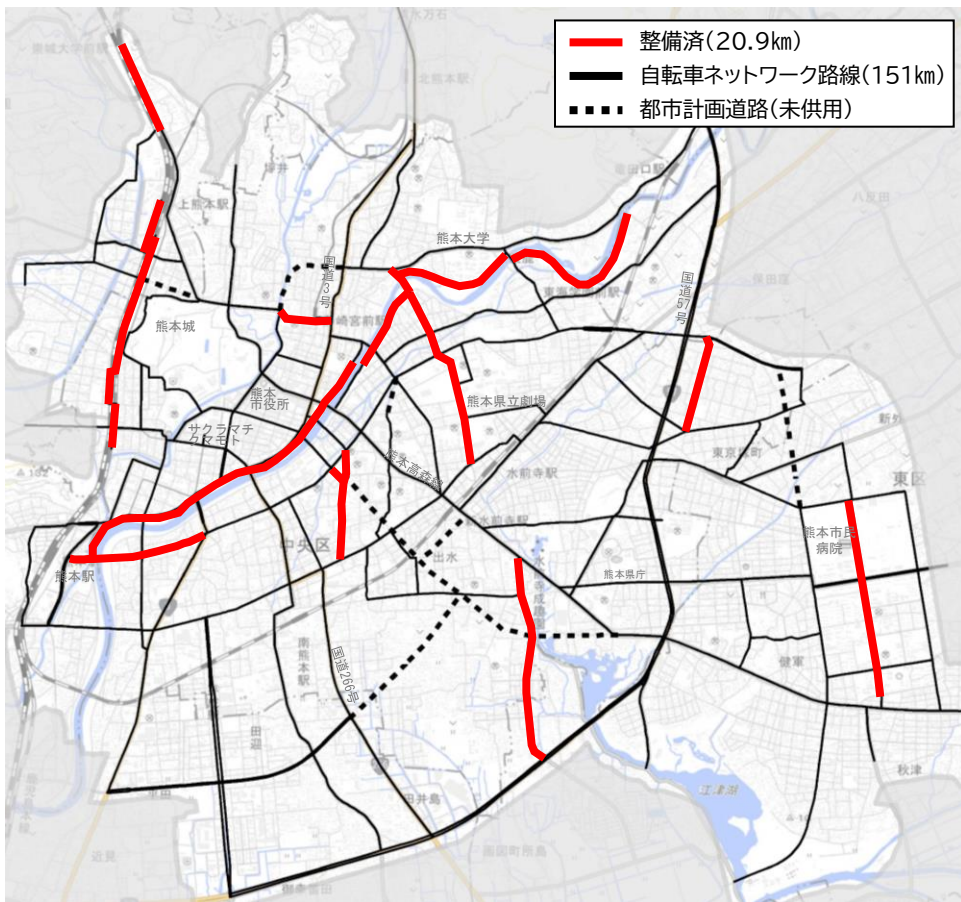
### ○計画路線

- 89路線、151km (うち管理対象は、73路線、112km)

※管理対象外は「直轄国道」、「事業化前の都市計画道路」、「やむを得ず自転車歩行者道として別途対策を講じる路線」

### ○整備目標

- 自転車活用推進計画の最終年である令和12年度(2030年)までに50km



▲自転車ネットワーク路線と整備状況

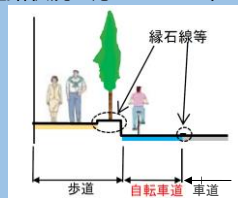
## 2 路線の整備形態

整備延長: 20.9km(20路線) ※令和6年(2024年)3月末時点

### 自転車道※1

- 緑石線等により構造的に分離
- 幅員2m以上 (道路状況に応じて1.5m)

整備済:  
約2.1km



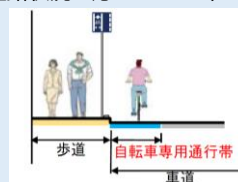
子飼橋



### 自転車専用通行帯※2

- 車道側に道路標識等を設置し、通行区分を指定
- 幅員1.5m以上 (道路状況に応じて1.0m)

整備済:  
約1.0km



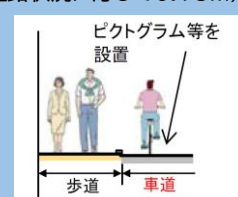
学園大通り



### 車道混在※3

- 車道に矢羽根等で走行空間を明示
- 自転車走行空間の幅1.0m以上 (道路状況に応じて0.75m)

整備済:  
約9.0km



主要地方道熊本停車場線



### その他 (自転車歩行者専用道路等※1)

- 他の道路と構造的に分離した道路
- 幅員4m以上

整備済:  
約8.8km



白川ちゃりんぽみち



※1: 道路構造令で規定

※2: 道路交通法で規定

※3: 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(平成28年7月、国土省、警察庁)に記載

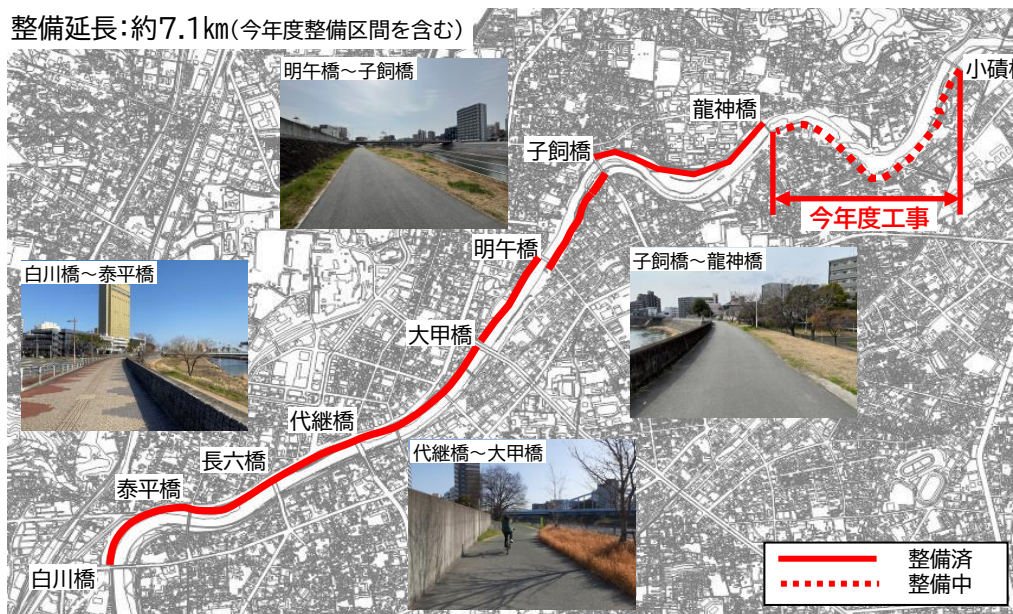
# 自転車走行空間について

## 3 今年度の整備状況

### 白川ちゃりんぼみち(龍神橋～小碓橋区間(左岸))

- 白川の河川管理用通路等を活かした自転車歩行者専用道路  
※一部区間は既存道路の歩道(自転車通行可の交通規制)を活用
- 今年度は、龍神橋～小碓橋区間(左岸)の照明灯等の設置工事を実施
- 工事は令和6年(2024年)3月完成(4月より供用予定)

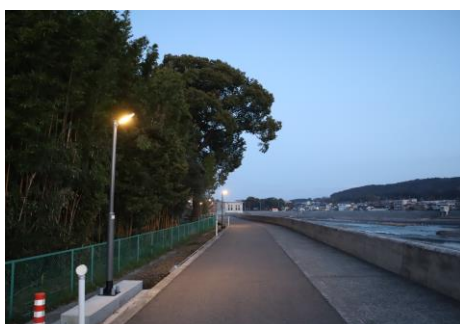
整備延長:約7.1km(今年度整備区間を含む)



<今年度整備箇所>



▲照明灯・防護柵設置箇所(龍神橋～小碓橋)



### 熊本空港線(出水ふれあい通り)

- 片側1車線、延長1.84kmの一般県道
- 両側の歩道は、自転車通行可の規制あり
- 路肩内に矢羽根を設置し、自動車と分離した走行空間を確保



▲位置図



▲車道混在の整備状況(熊本空港線)

## 4 今後の課題

### ○ネットワークの課題

- 連続性が確保できておらず、主軸となるネットワークが形成されていない
- 優先整備路線の見直しも視野に検討が必要

### ○走行空間確保手法

- 路肩が狭い路線や歩道がない路線での車道混在整備では、車道側に「矢羽根 + 自転車マーク」を整備し、走行空間を確保
- 他都市では、路肩の「塗りつぶし」や車道外側線外側に着色した「ブルーライン」など、自転車の通行位置をより分かりやすく明示する手法を実施



▲他都市の整備状況(左:江戸川区(塗りつぶし)、右:平塚市(ブルーライン))